



## 平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 ウェルネット株式会社  
コード番号 2428 URL <http://www.well-net.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宮澤 一洋

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 猪飼 俊哉

TEL 03-3580-0199

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年6月期第2四半期の業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	4,246	14.1	913	14.1	915	13.6	587	16.7
26年6月期第2四半期	3,720	—	800	—	806	—	503	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	60.38	60.13
26年6月期第2四半期	50.60	49.13

(注)平成25年6月期第2四半期においては連結財務諸表作成会社であり、個別の経営成績(累計)を開示していないため、平成26年6月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第2四半期	24,701	8,332	33.6	851.93
26年6月期	24,398	8,037	32.8	811.40

(参考)自己資本 27年6月期第2四半期 8,292百万円 26年6月期 7,998百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	47.00	47.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	48.00	48.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年6月期の業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	7.9	1,550	5.2	1,540	3.4	925	1.3	95.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期2Q	9,800,000 株	26年6月期	10,100,000 株
27年6月期2Q	65,754 株	26年6月期	372,154 株
27年6月期2Q	9,731,081 株	26年6月期2Q	9,949,124 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税引き上げにより消費意欲が冷え込む中で、個人消費の持ち直しの動きに足踏みが見られるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。このような情勢のもと、当社は平成25年8月に公表した「中期経営3か年計画（2013年7月～2016年6月）」に掲げられた目標を達成すべく、2年度目に当たる今年度が極めて重要な位置づけとの認識にて諸施策を推進・実行しております。

中期経営3か年計画の中核をなすのは次世代を担うビジネススキーム確立とカイゼン（機能拡充・システム安定運用・コストパフォーマンス向上）の両輪であります。ビジネススキームの確立に関して、バスの革新的直売モデルであるバスIT化ソリューションは昨年12月19日から稼働開始いたしました。また、コンシューマ向けアプリケーション開発は当初予定より遅延しておりますが、今後のウェルネットのビジネスモデルには欠かせない機能となるとの確信の下、研究及び開発を進めております。

カイゼンについては、今春に予定しているデータセンター移転完了後は、運用の自動化、標準化を推進し、またシステム開発の内製化の比率をあげることによるコストパフォーマンス向上にむけて準備を進めております。既存サービスの拡充については、送金（及び返金）サービスのバリエーションの拡充、マルチペイメントサービスに決済方法の追加を開発中であり、順次投入してまいります。

また、昨年12月19日、当社の株式は、東京証券取引所市場第二部から同市場第一部銘柄に指定されました。引き続き、更なる業容の拡大と企業価値の向上を目指す所存でございます。

各サービス別の概況は以下のとおりであります。

①マルチペイメントサービスにおきましては、持続的なEC市場の拡大により既存契約事業者との取扱が増加したことに加え、新規事業者の開拓を積極的に進めました。ネットDE受取サービス、及び、コンビニ現金受取サービスの送金サービスにおきましても新規事業者の開拓を進めております。

以上の結果、マルチペイメントサービスの売上高は4,015百万円（前年同期比17.4%増）、売上総利益は1,134百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

②オンラインビジネスサービスにおきましては、PINオンライン販売サービスの取扱は減少傾向が継続しております。

以上の結果、オンラインビジネスサービスの売上高は204百万円（前年同期比24.5%減）、売上総利益は167百万円（前年同期比22.9%減）となりました。

③電子認証サービスにつきましては、当社主力事業であるマルチペイメントサービスの周辺ビジネスとして位置付け、様々な可能性を試行しております。

以上の結果、電子認証サービスの売上高は26百万円（前年同期比7.2%減）、売上総利益は11百万円（前年同期比50.7%増）となりました。

以上の結果、当社の当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高4,246百万円（前年同期比14.1%増）、営業利益913百万円（前年同期比14.1%増）、経常利益915百万円（前年同期比13.6%増）、四半期純利益587百万円（前年同期比16.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債、及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は24,701百万円となりました。流動資産は22,981百万円であり主な内訳は現金及び預金15,912百万円、有価証券5,002百万円であります。現金及び預金には、回収代行業務に係る収納代行預り金が13,421百万円含まれておりますが、これは翌月の所定期日には事業者に送金されるものであり一時的に当社が保管するものであります。固定資産は1,720百万円であり、内訳は有形固定資産453百万円、無形固定資産489百万円、投資その他の資産776百万円であります。

一方、負債合計は16,369百万円となりました。主な内訳は収納代行預り金13,421百万円、営業未払金1,610百万円であります。

純資産合計は8,332百万円となりました。主な内訳は株主資本8,292百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、資金という)の残高は17,314百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は3,374百万円となりました。主な増加要因は税引前四半期純利益915百万円、収納代行預り金の増加額2,984百万円、主な減少要因は法人税等の支払額306百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は1,295百万円となりました。主な減少要因は有価証券の取得による支出2,399百万円、主な増加要因は有価証券の償還による収入900百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は466百万円となりました。主な減少要因は、配当金の支払455百万円であります。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績は、概ね当社の予想範囲内にて推移しており、平成27年6月期通期業績予想につきまして、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を第1四半期会計期間より適用しております。なお、当社が導入している「株式給付信(J-ESOP)」は、第1四半期会計期間の期首より前に締結された信託契約によるため、それに係る会計処理については従来採用していた方法を継続適用しております。そのため、当第2四半期財務諸表への影響はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,801,071	15,912,480
売掛金	443,736	581,161
営業未収入金	845,583	883,897
有価証券	4,002,615	5,002,215
商品	3,043	2,496
仕掛品	666	4,957
貯蔵品	2,300	2,076
その他	217,561	592,571
流動資産合計	19,316,579	22,981,856
固定資産		
有形固定資産	472,851	453,665
無形固定資産	484,366	489,916
投資その他の資産	1,086,314	776,527
固定資産合計	2,043,532	1,720,109
資産合計	21,360,112	24,701,965
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	334,623	441,335
営業未払金	1,615,064	1,610,379
収納代行預り金	10,436,879	13,421,406
1年内返済予定の長期借入金	10,000	-
未払法人税等	309,560	324,017
その他	299,431	408,531
流動負債合計	13,005,559	16,205,670
固定負債		
株式給付引当金	24,481	24,155
資産除去債務	6,647	6,696
長期未払金	119,007	119,007
その他	9,775	13,743
固定負債合計	159,910	163,602
負債合計	13,165,469	16,369,273

（単位：千円）

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	667,782	667,782
資本剰余金	3,509,216	3,509,216
利益剰余金	4,605,891	4,301,078
自己株式	△626,753	△185,140
株主資本合計	8,156,136	8,292,937
新株予約権	38,506	39,755
純資産合計	8,194,642	8,332,692
負債純資産合計	21,360,112	24,701,965

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
売上高	3,720,591	4,246,922
売上原価	2,438,201	2,933,388
売上総利益	1,282,389	1,313,533
販売費及び一般管理費	482,243	400,441
営業利益	800,146	913,091
営業外収益		
受取利息	7,190	6,491
未払配当金除斥益	1,392	835
その他	1,377	1,512
営業外収益合計	9,960	8,839
営業外費用		
支払利息	212	76
上場関連費用	-	6,000
訴訟関連費用	3,451	-
その他	13	-
営業外費用合計	3,678	6,076
経常利益	806,427	915,855
税引前四半期純利益	806,427	915,855
法人税、住民税及び事業税	271,921	320,226
法人税等調整額	31,132	8,093
法人税等合計	303,053	328,319
四半期純利益	503,373	587,535



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	806,427	915,855
減価償却費	116,349	90,254
受取利息及び受取配当金	△7,190	△6,491
支払利息	212	76
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△213,507	-
営業未収入金の増減額(△は増加)	△43,808	△38,313
売上債権の増減額(△は増加)	△145,893	△137,424
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,489	△3,519
営業未払金の増減額(△は減少)	△47,667	△4,684
仕入債務の増減額(△は減少)	58,394	106,712
収納代行預り金の増減額(△は減少)	4,051,067	2,984,527
その他	110,485	△251,561
小計	4,683,380	3,655,429
利息及び配当金の受取額	22,671	25,761
利息の支払額	△221	△85
法人税等の支払額	△220,902	△306,492
役員退職慰労金の支払額	△94,500	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,390,427	3,374,612
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,100,000	△1,100,000
定期預金の払戻による収入	500,000	1,100,000
有価証券の取得による支出	△900,000	△2,399,062
有価証券の償還による収入	600,000	900,000
投資有価証券の償還による収入	-	300,000
有形固定資産の取得による支出	△52,139	△29,844
無形固定資産の取得による支出	△158,052	△67,018
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,110,192	△1,295,925
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△228,600	-
長期借入金の返済による支出	△10,000	△10,000
配当金の支払額	△250,133	△455,894
リース債務の返済による支出	△631	△654
財務活動によるキャッシュ・フロー	△489,365	△466,548
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,790,870	1,612,138
現金及び現金同等物の期首残高	15,560,800	15,702,429
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,351,670	17,314,568

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。